

次期学習指導要領対応授業力向上研修

授業実践前サポート研修②



特別支援学校における ALの視点からの指導案分析



静岡県総合教育センター
専門支援部 特別支援課

授業実践前サポート研修②の流れ

(1) **講義（全体）** 10分間

「育成すべき資質・能力とALによる学びの
必要性について」

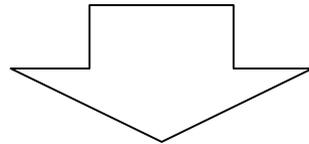
(2) **演習（グループワーク）** 60分間

「特別支援教育における
ALの視点からの指導案分析」

(3) **まとめ（全体）** 10分間

講義・演習を始める前に

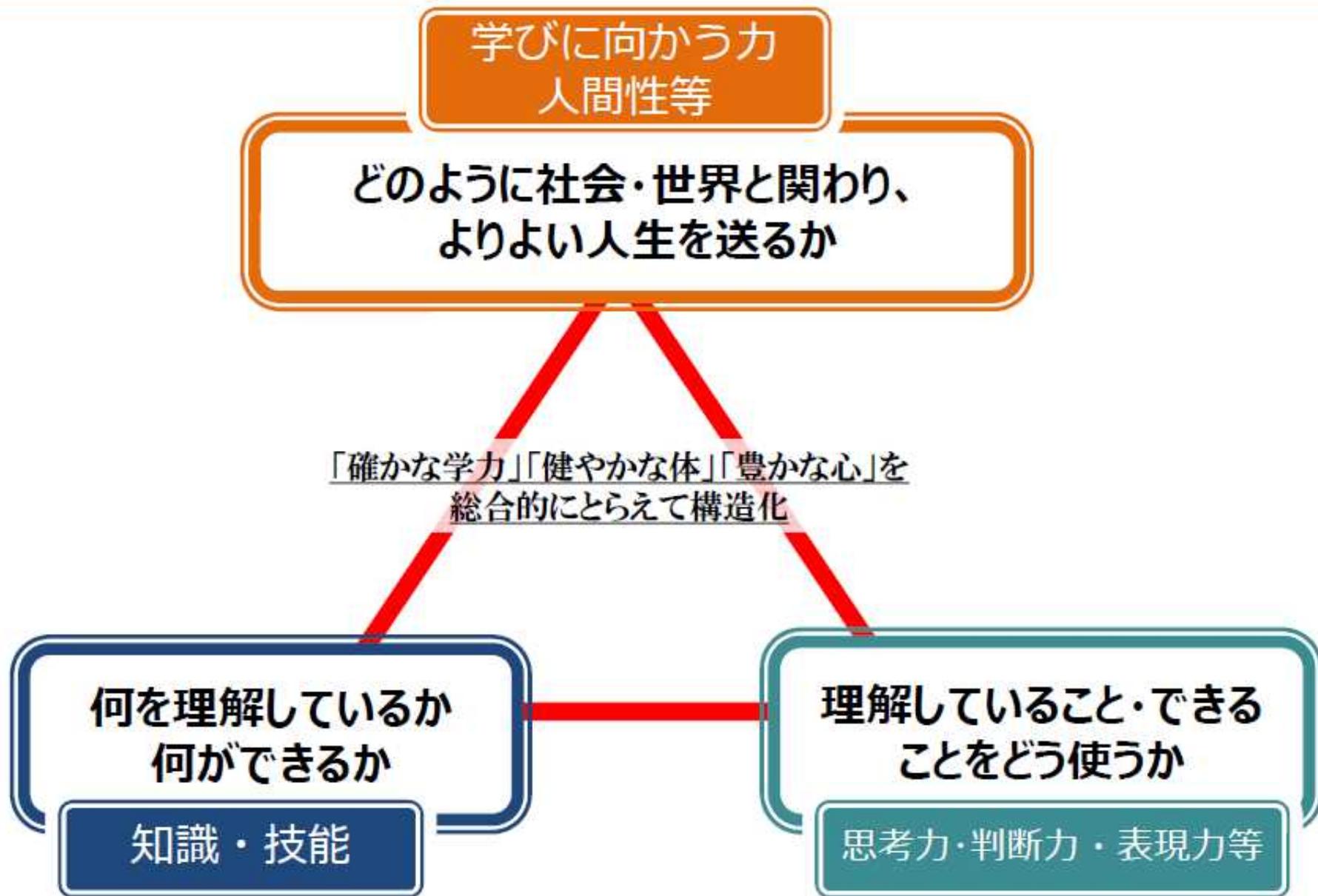
所属校の先生方が、育成すべき資質・能力を育むために目指す授業像としてのALを理解して**授業力向上を図る**ことができるように



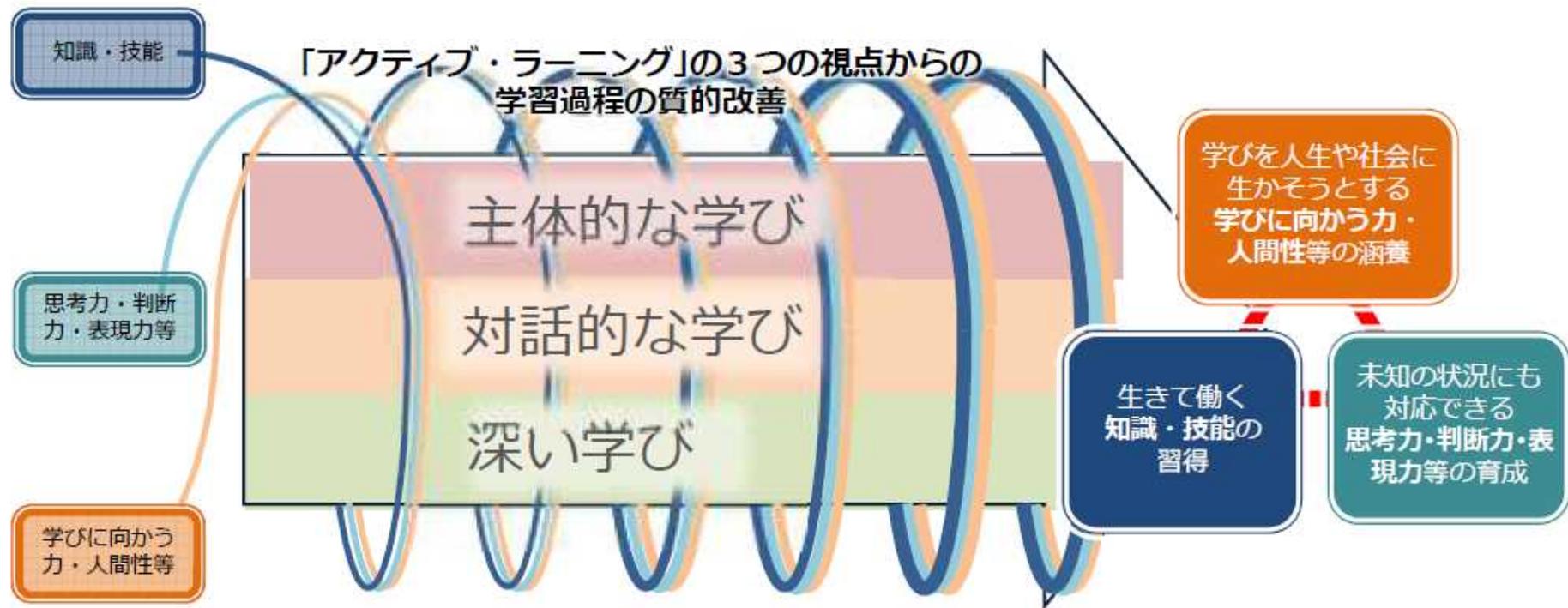
育成すべき資質・能力とALによる学びの必要性について理解する。

ALの視点による**授業イメージ**を得る。

育成を目指す資質・能力の三つの柱



資質・能力の育成と 主体的・対話的で深い学びの関係



「主体的・対話的で深い学び」の実現

「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善



これまでの振り返り

特別支援学校の教育で大切にしてきた授業像

○児童生徒の興味・関心

○学習活動への意欲

○主体的活動

○将来の生活に必要な基礎的な知識技能

○共同して取り組む

○行動の芽生えを把握(評価)する 等々

いくなれば・・・

みんなでパーティーをしよう

〇〇特別支援学校 小学部 生活単元学習



思いはたくさんあるものの、言葉でのやりとりが難しい児童にとって「対話と思考」をどのように捉えるか何度も考えた。

「行動」には必ず思考が含まれている。だから言葉はなくても「行動がその子の言葉そのもの」と捉えた。そう考えると、今回の授業の中で児童が「人やものと対話し、思考している。」姿を引き出すことができたと思う。

「主体的・対話的で深い学び」にむけた 授業改善のポイント

思考力や判断力、表現力の評価
深い学びの評価

現在もっている力の把握

目標設定

場面設定

評価

どこで、何を、どのように
評価するのか